

雑木蝶



さん ぐう
三宮 ゆきお

新潟県柏崎市西山町生 (田中角栄元総理同郷)
法政大学大学院社会科学研究所政治学修了
北本市立北小・南小助教諭・教諭
北本市教育委員会市史編さん室長
平成27～29年度 北本市議会議長

三宮ゆきお後援会

北本市西高尾 1-259 TEL.FAX.048-592-1376
E-mail:sangu@salsa.ocn.ne.jp

討議資料

一度中断も！

新三市のゴミ処分場 400 億円、市民の声を聴け！ 温浴施設 11 億円！ 年間利用 17 万人の妥当性の検証

新三市(鴻巣・行田・北本)のごみ処分場は、現在、温浴施設についての話し合いが続いています。新聞紙上を賑わした、施設用地の疑惑だけの問題ではありません。本来、本体施設の話合いが先に進められるべきと思いますが、なぜか、温浴施設(付属施設)が先に話し合われています。正確な利用人口や収支のわからないまま、温浴施設の建設を決めてしまうことは許されません。本施設が続く限りランニングコストが、本体とは別に重く圧しかかってくるからです。

今後の本体業者選定の透明化のためにも、一度中断し、市民の声を聴くべきです。副管理者である市長には、管理責任と説明責任があります。リーダーシップを発揮し、施設立地市(鴻巣)の暴走をこれ以上許すな!

疑問 1 金額が当初説明された金額の倍以上

北本市議会に、施設規模約 249t/日 整備費118億円(t 当たり4千万円)の概算事業費が示され、旧吉見等の枠組で示された新施設整備費より、約150億円ほど安かったことや施設敷地が鴻巣に設置されることであった。ところが、三年後議会に示された金額は、倍以上の248億円!

疑問 2 不利なメンバー構成

事務局職員及び検討委員会のメンバー構成が対等ではないこと。職員の職階や職員数、委員数や構成議員数において、明らかに不利であること。また、会をリードする委員長枠も北本市に無いこと。

疑問 4 大規模な温浴施設計画

検討委員会に示された施設が大規模な構想であること。年間利用者数を17万人と見込み、1日の平日の平均利用者数を436人、土日の平均利用者数を763人と見込み、そこから施設規模を 1,528 m²と計算していること。建設費を約 11 億円と見込んでいること。その他、施設として露天風呂、サウナ、岩盤浴、子ども用プール等の意見が出ていること。

疑問 3 事業地選定過程が不透明

事業用地の選定過程において、組合議会に100条調査委員会の設置を求められたことや、新聞紙上に様々な疑惑が報じられていること。組合事務局において、文書の改ざんが行われ、恣意的に管理者の身内の土地が選定されたのではないかという報道があること。

既存温浴施設の利用者数推計

市名	施設名	延床面積(m ²)	利用者数推計(人)
行田市(民間)	ゆの駅 行田天然温泉 古代蓮物語	1,212	100,000
	行田・湯本天然温泉 茂美の湯	422	30,000
北本市(民間)	北本天然温泉湯花楽北本店	863	70,000
	北本温泉湯楽の里	2,193	190,000
新鴻巣市(公設)	鴻巣行田北本 余熱利用施設	2,028	170,000

今後の課題

(第3回検討委員会会議録 参考)

- 1 交通アクセス面や立地面、環境面から本当に年間17万人が施設を利用するのか、その妥当性の検証。
- 2 年間5千万円の黒字と説明しているが、他市の事例では、どこも年間3千万円から1億数千万円一般財源からの持ち出しであり、行政負担がどうなっていくかの検証。
- 3 行田と北本には、民間の温浴施設が2か所ずつあり、いずれも天然温泉であり、この新温浴施設は、よほどの付加価値がない限り、魅力を感じないのではないかの検証。

年間利用者数からの施設規模の設定(温浴施設)

項目	数量	単位	備考
年間利用者数	170,000	人	推計結果より
年間営業日数	312	日	6日/週×5.2週
土日比率	1.75	—	文献より
平日1日平均利用者数	436	人	略
土日1日平均利用者数	763	人	略
回転率	2.0	—	文献より
収容1人当たり面積	4.0	m ² /人	文献より
必要施設面積	1,528	m ²	—

鴻巣行田北本環境資源組合関係時系列表

事務局職員構成 (5名)
 埼玉派遣1名(主査級)・鴻巣市2名(部長級1、主査級1)
 行田市1名(課長級)・北本市1名(主査級)
 組合議会議員構成(14名)鴻巣5名・行田5名・北本4名

検討委員メンバー (16名)
 三市の(自治会連合会、組合議員、副市長)及び有識者、地元市民16名で構成

年月日	三市の動き	新施設建設等検討委員会	北本市議会の動き他	
25.			北本市議会全員協議会	
25.5.7	ゴミ処理広域化の推進に関する基本合意書締結	北本市市議会に、施設規模約 249t/日 整備費118億円(t当たり4千万円)の概算事業費が示される	北本市議会全員協議会	
25.11.6	ゴミ処理広域化の推進に関する協定書締結		鴻巣行田の組合への加入を議決 条件1 施設敷地が鴻巣に設置されること 条件2 吉見等の枠組みで示された施設整備費約150億円より安かったこと	
26.4.1	組合発足			
26.8.28		第一回 委嘱、諮問		
26.10.15		第二回 候補地選定方法他検討		
26.11.19		第三回 広域化課題他検討		
27.1.20		第四回 建設候補地、53 か所を提示、資料回収	118億円が	
27.2.17		第五回 中間答申、スケジュール 1か所を提示		
27.2.25	第一回定例組合議会			
27.6.26		第六回 専門部会設置、施設見学会		
27.7.1	第二回定例組合議会			
27.9.25		第七回 処理基本計画、広域化方針		
27.11.16		第八回 上記計画と方針の答申案		
27.11.19	第三回定例組合議会	三市事務局説明会の開催 施設規模約 249t/日整備費 248 億円 (t当たり) 8 千万円)の概算事業費変更の根拠について説明 説明不十分		北本市議会全員協議会 248億円へ
28.2.28	第一回定例組合議会			
28.5.10				
28.7.21	第二回定例組合議会			
28.7.27		第一回 委嘱、諮問		
28.9.29		第二回 施設規模の検討		
28.10.31		第三回 施設見学会		
28.11.17	第三回定例組合議会			
28.11.18		第四回 余熱利用、環境学習		
29.1.20		第五回 ごみ処理方式の評価・選定		
29.1.25		第六回 施設整備基本計画答申案		
29.2.16	第一回定例組合議会			
29.7.20	第二回定例組合議会			
30.2.1		第一回 委嘱、諮問		
30.2.15	第一回定例組合議会			
30.3.15	組合議会運営委員会			
30.3.23		第二回 余熱施設の検討		
30.4.5	組合全員協議会	100条委員会調査項目 1.候補地が変更された理由 2.調査基準が変更された理由 3.候補地及び評価規準の変更過程 4.候補地選定に関わった関係者		
30.4.27	組合全員協議会			
30.5.10	組合全員協議会			
30.5.29				
30.5.30	組合臨時議会		東京新聞「選定過程が不透明」の記事	
30.7.6	環境影響評価	第三回 余熱施設の検討	現在 検討中 (少し遅れ気味)	
31年度	事業者募集設計建設工事?			
32年度	↓	不透明な総事業費400億? ・整備費248億円(各社平均値) ・土地買収・整備費、余熱利用施設費? ・運営、施設管理費(20年間)170億円	温浴施設事務局案 年間利用者数 17万人 年間営業日数 312日 必要施設面積 1,528㎡	
33年度	↓			
34年度	↓			
35年度	施設稼働 12月			

